

令和 6 年度 第 2 回 佐世保市図書館協議会 会議録（案）

1. 日 時 令和 7 年 3 月 25 日（火）午後 4 時～午後 6 時 00 分

2. 場 所 佐世保市立図書館 4 階 A 会議室

3. 出席者 ○佐世保市図書館協議会委員 （定数 5 名）（出席 4 名）

・社会教育関係者 豊村 貴美子 ・社会教育関係者 奥永 紀子
・家庭教育関係者 松山 裕美香 ・学識経験者 小泉 優莉菜

○事務局・説明者

・図書館長 浜田 裕子 ・館長補佐兼図書第一係長 林 慎一
・図書第二係長 内海 由佳

4. 会次第

（1）開会

（2）議題

①令和 7 年度予算について

②佐世保市立図書館資料選定基準について

（3）閉会

5. 議事（要点筆記）

（1）開会

（2）議題

①令和 7 年度予算について

《 質 疑 》

○委員：

ピース文化祭の日程は決定しているのか。長崎県内で分散して開催されると聞いている。

○事務局：

ピース文化祭では大学ビブリオバトルをアルカス SASEBO で令和 7 年 11 月 23 日に開催予定としている。詳細については現在事務局と協議している。

ピース文化祭の全体の開催期間は令和 7 年 9 月 14 日～11 月 30 日となっている。

○委員：

視聴覚室等を活用した「本を感じさせないイベント」とあるが、図書館で実施するイベントとしてどうしてこのようなイベントを行う必要があるのか。

○事務局：

佐世保市議会での一般質問で図書館の利用者増加についてお尋ねがあった。

現在視聴覚室で図書に関係するイベントを積極的に行っているが、それだけでは来館者数が増えない状況にある。

そのため、図書館に普段来館しない方がイベントに参加することで図書室を覗いていただくなど知っていただくきっかけを多くすることで来館者数の増加ができればと考えている。

例えば、他部局が実施しているイベントなどを視聴覚室で行うことで利用者のすそ野を広げる取り組みを進めていきたい。

②佐世保市立図書館資料選定基準について

《 質 疑 》

○委員：

感想になるのだが、行政や郷土資料における選定基準はとても難しいと感じている。

他の市町村でも、郷土資料がとにかく増えてきてしまって、どう方向性をつけていくかというのが、議題に上がり聞いていたもので、第1区から第3地区に分けて収集するなど、優先順位を決めて資料収集するのはとても分かりやすいことだと思う。

○委員：

「特別コレクションとして、佐世保市に深い関りをもつ「旧海軍」の資料を選定する。」とあるが、利用者が普段手に取れない棚にある資料が該当するのか。

○事務局：

開架、閉架を含めて旧海軍に関係する資料を特別コレクションと位置付けで運用をしたい。

○委員：

郷土資料室の資料として旧海軍は確かに多いと感じるが、陶磁器関係は特別コレクションとして位置づけないのか。

○事務局：

位置付けてはいないが、市内の基幹産業として歴史的なことから現在の産業として収集する予定としている。

○委員：

地域から出た作家を一定期間展示したり、ラジオやテレビで取り上げられた本を誰でもすぐアプローチできるように、情報を掲示するなど取り組みをしているのだなと感じました。

○委員：

昔出版され図書館が蔵書していれば、展示コーナーを設けることで貸出冊数は増えるのではないかと思う。

○事務局：

時事的な内容や季節的なテーマ、市民の方が興味を示すような内容を展示コーナーとして作っているが、テレビやラジオなどの情報を全て把握できていない。

現在は、例えば昨日のラジオで取り扱っていた書籍について司書にお尋ねいただくことで、どのような内容を取り扱っていたかを知りえる情報源があるため、調査して利用者にお答えしている状況である。ご意見いただいた内容は検討を進めたい。

○委員：

「特定分野への集中的なリクエストが増加しており」とあるが、どのような分野なのか。

また、ニーズが増えれば特定の分野にリクエストが多くなるということがあるのではないかと感じる。

○事務局：

事例としては、すでに所蔵のある類似した専門書への重複したリクエストや、特定分野で年度ごとに複数巻出版される解説書の1つの巻だけの購入リクエストなど、度を越えたものが昨今増えてきている。

図書館としても考え直さないとお客様にきちっと説明できないということで選定基準を提案させてもらっている。

個人が特定される恐れがありますので公開の際は「既に複数蔵書している簿記の本に加えて新刊の同種の本に対するリクエストや、特定大学の過去の問題集に対するリクエスト」部分は「～ 事例紹介 ～」と表現いたします。

○委員：

カスタマーハラスメントに近いものを感じる。対策が必要ではないか。

○事務局：

予算が限られている状況であるため公平に図書がお客様の手に届くようにと考えているのでご理解いただければと思う。

○委員：

もう少し広い分類での偏りとの認識でお尋ねした。話を聞いてイメージが全く違った。

○事務局：

購入できない場合は相互貸借制度を活用して他の図書館から調達してできる範囲でお客様に提供できるよう努力をしていきたい。

③その他

《委員退任のあいさつ》

《 意 見 》

○委員：

図書館協議会で議論されている内容は利用者の視点でどのように運営していくかなど図書館側としても真摯に対応されているが、図書館の取組が具体的に知られる機会が少ないと感じる。

また、駐車場の有料化についてだが、バスが減便になっている状況であるため車での図書館利用が増えていると感じる。

有料化の見直しなどを行うことで利用者増につながるのではないかと思います。

○事務局：

駐車場の有料化については佐世保市全体の施策の中で決定したものであり、図書館だけの事情で改めて無料にするということは難しい状況である。

その他の取組で図書館に足を運んでいただく、知っていただけるよう情報発信も含めて努力して

いきたい。

○委員：

予算において施設の工事費が計上されていたが、現在ある場所で図書館は運営していくと推察される。

例えば駐車場の問題が解決できるような場所に移転するなど将来的なビジョンはあるのか。

○事務局：

図書館は築30年を超えており、今後検討を進めていくべき施設となっている。

ただ、車所有の方は郊外にと思われるが、ご高齢の方など車が運転できない方などは現在の立地が良いと思われる場合もある。

ご意見いただいた駐車場に関する課題も含め慎重に検討を進めたい。

○委員：

24時間開館している図書館や、大学の迷路のような大きな図書館などがテレビで紹介されていた。管理者の様々な考え方で運営されているのだなと感じた。

図書館という目的の他に美術館的なコンセプトで建てられており、自治体の考え方や関り方によってずいぶん練られて作られているようであった。

○委員：

移動図書館が増えるという計画はないのだろうか。買物難民対策で最寄りまで食材を積んだ車両が回っている。図書館を移転するよりも安価に実現可能ではないかと感じる。

ロ) 次回開催について

日程については事務局で連絡調整する。

(3) 閉会

以 上